

『道徳ノート』と評価

日本文教出版の『小学道徳 生きる力』には、各学年に『道徳ノート』がついています。

一冊三役

○先生方にとって

- ・道徳科における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、児童理解の手立てとなり、指導や評価に役立ちます。
- ・別冊なので提出ー確認ー返却が簡単です。

○子どもたちにとって

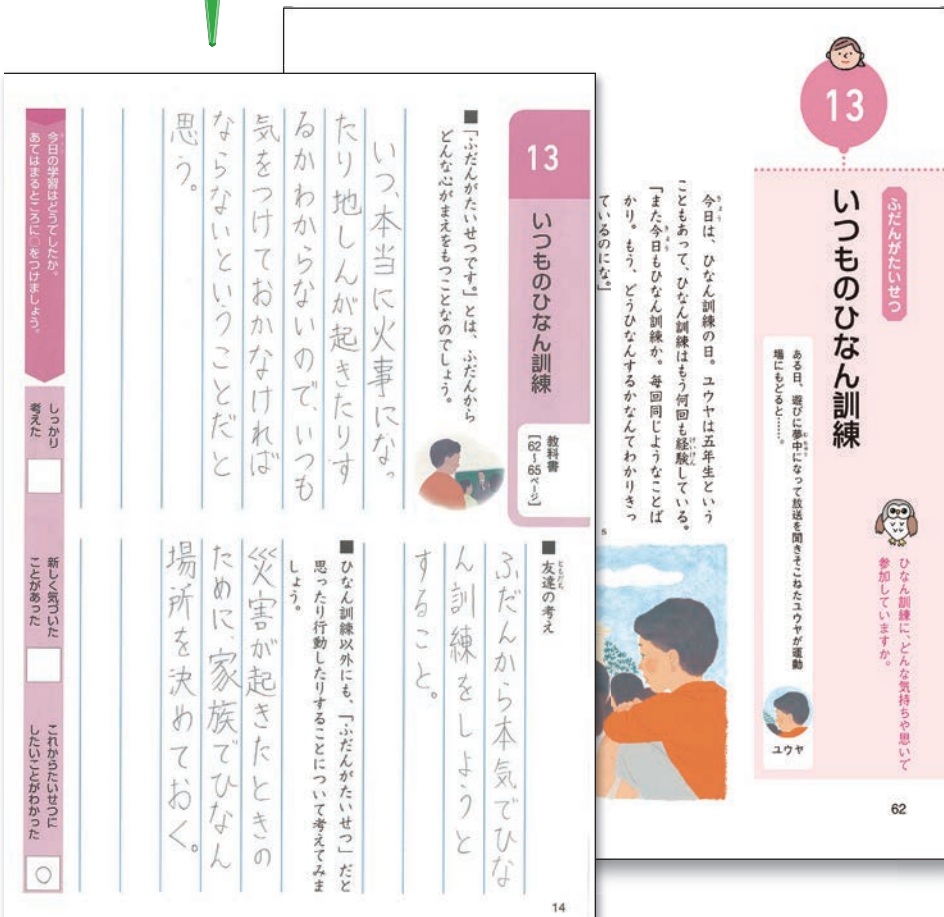
- ・自分の考えや、友達の考えを書き込むことで、多面的・多角的な見方や考え方に気づくことができます。
- ・自分自身の成長の記録となり、手元に残ります。
- ・「考えて書く」実践の積み重ねが言語活動の充実につながります。

○ご家庭にとって

- ・保護者記入欄を活用することで、家庭ー学校間を繋ぐツールとなっています。（→内容解説資料 p.11 をご参照ください。）



1 教材にノート 1 ページで子どもたちも先生方も使いやすい



この道徳ノートは教科書の配列順1教材あたり1ページを充てていますので、1回の授業でノート1ページという自然で無理のないペースで使うことができます。

授業中に、子どもたちがどこに何を書いてよいのかわからなくなるという心配もなく、安心できます。

先生方が授業後にノートを確認する際も、どこに何が書いてあるかがわかりやすく、時間を大切にお使いいただけます。

評価への活用

『小学道徳 生きる力』では、**内容項目の4つの視点**を色分けしていますので、その教材がどの視点に当たるのか、ということが一目でわかります。

ピンク 「主として自分自身に関すること」

オレンジ 「主として人との関わりに関すること」

ブルー 「主として集団や社会との関わりに関すること」

グリーン 「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」



児童の状況や発達段階に合わせ、学期末あるいは学年末に、領域別に通して見返しやすいよう、『道徳ノート』もこれに準じてタイトル回りの色を変えています。

通して見返していただくことにより、児童一人ひとりの、

- ・ 学年始めから学年末にかけての記述量
- ・ 道徳的価値についての理解の深まり
- ・ 友達の意見への興味・関心、把握の程度
- ・ 他教科の既習事項や自らの生活と関連づけた思考の深まり

などの**変容・成長**を即座に把握していただけます。

これを通して、

- ・ 児童の成長を受け止め、認め、励ます個人内評価
- ・ 個々の内容項目ごとではない、大きくくりなまとまりを踏まえた評価
- ・ 一年間の授業という長い期間の中で変容を見取ること

に繋げていただけます。

この『道徳ノート』が、先生方の多面的・多角的な児童理解の深まりへの一助になることを願ってやみません。

※他教材に差替えた場合や、発問の内容を独自の内容に変更したい場合にお使いいただけるよう、教師用指導書のデジタルデータ編に『道徳ノート』と同じ様式のWord ファイルを収録します。